

推薦調書（実装部門）

表彰区分	町・村	推薦都道府県	大分県
地方公共団体名	玖珠町		
取組名称	玖珠町ジュニア ICT リーダー事業（JIL）		
連携自治体、企業、団体等	Google for Education		
デジタルを活用した取組の概要 （デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合の分野）
	教育 【デジタルを活用した取組の全体概要】 ○子どもたちが地域の可能性を認識し、持続可能な社会の創り手となることを目指し、GIGA スクールによって整備された端末（以降、GIGA 端末）の効果的な活用方法や情報モラルを関連企業や自治体の職員が、希望する小中学生に研修を行ない、町教委が公式に<u>ジュニア ICT リーダー</u>として認定する。リーダーたちのミッションとして町の魅力をまとめるホームページを作成し、玖珠町（教育委員会）の公式なものとして発信している。 ・集合研修（11 月）クラウドツールを使用した共同活用 ・課題制作・情報モラル研修（12～2 月）共同編集など HP を作る準備 ↑いずれもオンラインによる非同期分散型の研修形式で実施 ・HP 作成研修（3 月）公式なものとして一般公開 【実施に至る経緯・動機】 ○これまで一部の地域（都市部）のものとされていた「デジタル」が、GIGA スクール構想によって、全国的なものとなったため、都会にはないたくさんの魅力があるこの田舎でも、デジタル人材の育成ができないかと検討し、GIGA 端末を活用した、郷土愛醸成のための新しい取り組みとして開始した。 ○国社数理英などの教科は、小中学校で習っても GIGA スクールで配られた端末の使い方だけを学ぶ機会はない。これからの学習基盤となる全国に配備された GIGA 端末の効果的かつ有機的な活用のため、児童生徒のスキルアップと教職員研修などとの相互作用によるデジタル化の飛躍的推進を狙った。 ○玖珠町においては、大学進学や就職による若者の地元離れが大きな人口現象の要因であることから、小中学生段階での郷土教育や情操教育の充実を図り、まちづくりの当事者として、大人になっても様々な形で玖珠町へ貢献してほしいという思いがあった。 【解決する課題の具体的内容】 ○町の魅力を発信する HP 作成時に、子どもたちが主体的に町の魅力について調べて討議することによって、改めて玖珠町の魅力を発見し、それを発信するまでの間、「何もないところ」という玖珠町の認識を、可能性があるまちという姿にとらえ直すことができた。また発信の方法についてもこれまで学校教育になかった、デジタルを活用した新しい形として取り組むことができた。		

デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）	○リーダーの多くが在籍する、くす星翔中学校では授業での活用（デジタル教科書や AI ドリル）はもちろんのこと、毎日端末を持ち帰り、校務や生徒会活動など日常的に GIGA 端末を積極的に活用している。2021 年には、大分県の ICT 活用フロンティア校として指定、同年、積極的なデジタル活用の取り組みが評価され大分県教育実践者表彰を受賞した。リーダーたちは、クラウドツール（玖珠町は、Google Workspace）を使いこなし、著しくデジタル活用スキルが向上したため、このスキルを学校現場へ逆輸入し、教職員の働き方改革などに効果的な活用を児童生徒から学校側に提案している。 ○児童生徒は、普段見慣れているふるさと玖珠町の光景が、立地や自然環境など様々な可能性やリソース（資源）があることに気がつくきっかけとなった。
本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	○この事業の授業（課題）は GIGA 端末をフル活用し、各家庭に持ち帰った際に実施するため、学校現場に人的・物的な負担はなく、デジタルの強みである場所、時間を問わない効果的な活用ができた。 ○学校種（小中）や学校の異なる児童生徒間でも、クラウドツールを活用することで、1つの課題に対して、違う場所においても、共同で作成し編集を行うことができ、より質の高いデジタル教育を展開することができた。 ○デジタル人材の育成を、学校教育活動外（課外活動）で、無償で行うことにより、教職員の負担なく誰でも平等に参加できる環境作りを心がけた。 いずれも GIGA スクールの整備時に導入された、無料のソフトを使用していることから、一切の追加投資なく、GIGA スクール構想による整備を有効活用した、無理のない事業設計となっている。
今後の展望	2021 年 9 月 Google for Education のパートナー自治体プログラムへ参画し、効果的かつ積極的なデジタル活用の推進していくこととした。 この取り組みにかかる専用の経費はないため、毎年度、事業を実施し、リーダーが次のリーダーを養成する仕組みを作るなど持続的な取り組みとする。 地元の商工会、観光協会と協力し、町の PR 活動などに積極的に参画し、デジタルに不慣れな高齢者が営む商店などのホームページ作成などを担う。 全国各地から問い合わせがあり、玖珠町と同様の取り組みを始めた自治体もある。その自治体間で交流し、ジュニア ICT リーダーサミット（まち自慢大会）を実施する。山梨県甲府市などと実施予定。

我がまちから
イノベーション
大分県玖珠町

ジュニアICTリーダー

GIGA
スクール



まちづくり
郷土教育



デジタル人材
ICTリーダー

- ・ GIGA端末とクラウドサービスをフル活用し、官民連携でまちづくりの当事者を育成！
- ・ ICTリーダー（R3は54人）が、学校のGIGAな取り組みを後押し！大分県No.1 デジタル校
- ・ 玖珠町の魅力をPRするためのHPを作成！主体的に係わることで**郷土愛UP!**



玖珠町発
まちづくりと
デジタルの
ハイブリット人材の育成



研修中



生徒が作成したHP



児童生徒の作った
HP 14つまとめた
Webサイト